

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和6年度分）

団体名： 八幡市

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
						交付金 充当額		
1	地域づくり連携推進事業	文化振興	八幡市文化芸術振興事業	小・中・高校生を対象に全国からイラストを募集し、「松花堂昭乗イラストコンテスト」を開催することにより市民のシビックプライドを醸成するとともに、本市の文化芸術を発信することで、知名度の向上とイメージアップを図り、文化芸術に触れる機会が多いまちとして、市を訪れる交流人口の増加を図る。また、市内小学生を対象にしたイラスト授業により子ども達の創造性を育成する。	8,723	4,300	令和4年度から毎年実施。 令和4年度参加者数 小学生509人(市内341人・市外168人) 中学生339人(市内137人・市外201人) 高校生254人(市内5人・市外249人) 令和5年度参加者数 小学生308人(市内254人・市外54人) 中学生197人(市内173人・市外24人) 高校生83人(市内0人・市外83人)	コロナ禍の自粛期間は在宅時間が長く、本事業のようなコンテストでは比較的応募者数が多くなる傾向があったようだが、今回はコロナ禍が明けたことが影響したのか応募者数は減少した。しかし、全国各地より応募があり、八幡市の知名度の向上やイメージアップに効果はあったものと考えられる。市内小学校でのイラスト授業では、コンテストに応募する作品の制作を通して子ども達の創造性の育成に寄与することができた。また、市役所にて受賞作品展を実施し、市民や市を訪れる多くの方々へ八幡市の文化芸術活動について周知することができた。
2	地域づくり連携推進事業	環境	脱炭素化推進事業	地球温暖化対策の一環として脱炭素化社会の実現を目指すべく、本年度は公共施設へリユース太陽光パネルの設置を行う。市が率先して温暖化対策に取り組むことで、市民・事業者の主体的な取組の促進を図り、地球規模での環境問題の解決につなげる。	3,496	1,700	市公共施設1施設に容量7kWのリユース太陽光パネルを設置し、2月から運用開始。	事業の効果として、新品パネルと比較して、発電性能は約99%とほとんど変わらず、事業費についても全体で約15%の削減となった。その一方で、リユースパネルは保証が短いという課題があった。検証結果を踏まえて、京都PVパネル循環プラットフォームに参画し、課題の改善やリユース太陽光パネルを含めた再生可能エネルギーの導入を推進していく。
3	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	八幡市商工業活性化事業	地域に根ざした商工業の活性化を図り、市民の日常生活の利便性・快適性及び活力ある地域経済と地域社会を目指すため各種取組に対し補助を実施する。	2,469	1,200	令和4年度から毎年実施。 令和4年度補助件数 合計 20件 買おう（イベント等補助） 6件 広めよう（展示会等補助） 7件 始めよう（創業補助） 5件 作ろう（特産品開発補助） 2件 令和5年度補助件数 合計 20件 買おう（イベント等補助） 5件 広めよう（展示会等補助） 12件 整えよう（商店街等整備補助） 1件 始めよう（創業補助） 2件	市内商工業者の活動助成で始めた、活性化補助金の「八幡で広めよう応援事業」では、展示会に出展し多くの業者と名刺交換をしてつながりを持ってたことにより、新たな販路開拓につながったとの評価をもらっている。また、令和5年度に「八幡で整えよう応援事業」で商店街のアーケードや看板の改修を行い、利用客の利便性が向上した。その一方で、「八幡で広めよう応援事業」（創業補助）の件数が少なく、全体の申請件数も少なく低調なため、市内事業者等への周知について、今後工夫して周知する必要がある。
4	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	都市計画調査推進業務	産業振興や活力のあるまちづくりに向けた施策の一環として、産業振興ゾーンの土地利用を推進するため南北連携軸道路整備調査に着手する。また、誰もが利用しやすい道路空間を目指し、交通結節点としての機能強化を図ることに加え、商店街の活性化や企業の誘致による産業創造等の波及効果を見込み、本市の主要駅である石清水八幡宮駅周辺の調査業務に取り組む。	8,662	4,300	・南北連携軸基本計画の見直し ・石清水八幡宮駅周辺現況調査 ・ロータリー機能の検証と周辺整備範囲の検討 ・有力案の基本設計	南北連携軸道路の調査検討を行い都市計画道路の位置づけ及び検討を行った。また、石清水八幡宮駅周辺の整備を図るため現況調査等を行い、将来目指すべき質や求められる機能を整理した。
5	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	八幡市観光基本計画策定	令和5年3月に策定した「八幡市第5次総合計画後期基本計画」の基本目標の一つである「自然と歴史と文化が織りなす（観幸のまち やわた）」の実現のため、現行の「八幡市観光基本計画」（平成31年3月策定）に掲げる施策の進捗状況等の検証を行い、直近の観光動向及び社会情勢の変化、観光資源や交通ネットワークの整備状況等を把握したうえで、地域振興及び活性化につながる「観光まちづくり」の計画を策定する。	4,998	2,400	八幡市観光基本計画を令和6年3月策定 八幡市観光基本計画策定業務委託 委託先:㈱総合計画機構 4,998,400円 パブリックコメント (令和6年2月実施 応募数:10名28件) 観光基本計画推進協議会 2回 文化観光推進WG 3回 川辺のにぎわいづくりWG 3回	民間事業者などとともに、前計画の検証と本市観光の課題を新たに整理。市民や事業者などの意見を反映した、歴史的資源と自然資源の活用を基本に観光産業の広がりを目指す、文化観光によるまちづくりを推進する5年間（令和6年度～10年度まで）の新たな観光基本計画を策定することができた。

6	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	市民体育館整備事業	スポーツ等を通じた市民間の交流や信仰を進める施策として、市民スポーツ公園内にある市民体育館のアリーナ照明制御盤の更新を実施する。	6,765	3,310	八幡市民体育館の照明制御設備更新一式	コロナ禍が明けたことにより、市民体育館の利用者も増えてきている。そのため、経年により劣化した設備を更新することで、市民間交流の場としてのスポーツ環境の向上を図ることができた。
7	地域づくり連携推進事業	その他	商工振興費	八幡市の商工業の発展に取り組む八幡市商工会の活動に対する助成、及び商店街の活性化に向けた助成を実施。	3,281	1,600	商工会補助金の振興事業費：ライトアップ事業、やわたミライト事業の開催 中小企業知恵の経営ステップアップ事業：経営改善型21件、企業支援型1件 まちゼミin八幡事業：市内等のまちゼミ 28店舗参加、38講座開催、351名参加	中小企業知恵の経営ステップアップ事業は、中小企業等の課題解決を図る上で、経営の安定、改善やイノベーションの創出などに繋げるサポートとして、支援を行った。 まちゼミin八幡事業：店主や経営者が講師となり、専門知識やプロのコツを無料で教えるミニ講座で、参加店舗の知名度が向上し、新規顧客の獲得できたとの声をもらっている。
8	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	学力向上推進費	学力向上推進に向けて、主に授業中の学習環境改善のため、全小中学校に学習支援員を配置し、学習指導体制の強化を図る。また、家庭環境等の影響によって学習状態の改善が必要とみられる生徒を支援するため、スクールソーシャルワーカーを配置し、生活習慣の改善と学習習慣の定着を図る。	16,101	6,000	平成24年度から実施 学習支援員51人 スクールソーシャルワーカー2人	課題の大きな学年へ学習支援員を配置することで、個別指導やチームティーチングにより、一定落ち着いて授業を受けることができ、学力の向上への基盤をつくることができた。また、少人数指導を行うことや、個別での取出し指導など学力の充実にに向けた取組ができた。 スクールソーシャルワーカーの配置により、福祉的な視点から、困難な家庭状況にある生徒への支援を行うことにより、基盤となる家庭の安定を図れたことは学力向上にも一定効果があった。
9	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	英語検定受験料負担事業	市内の中学2・3年生に対して英語検定受験料を負担し、英語学習に対する動機づけを行う。	3,711	1,855	平成24年度から実施 受験者1,078人	英語検定の合格を目標にして、意欲的に英語に取り組む生徒が見られた。 中学3年生の英検3級以上取得率(R5 46%)が上昇傾向(R1 25%→R2 30%→R3 36%→R4 38%)である。
10	地域づくり連携推進事業	文化の力	松花堂庭園・美術館事業	松花堂庭園・美術館は江戸時代初期に書画や茶の湯に秀でた文化人として活躍した、石清水八幡宮の社僧「松花堂昭乗」ゆかりの施設で、「松花堂美術館」では、松花堂昭乗ゆかりの品々の展示をはじめ、多様な展覧会を開催している。また、「食の交流棟」では京都吉兆松花堂店で松花堂弁当などが提供され、市内外の利用者が訪れる。	40,772	20,305	各種事業を実施 入場者数等 松花堂日曜茶席 444人 松花堂書道教室 143人 松花堂月益会 790人 「昭和・懐かしい八幡」写真展 272人 春季企画展「世界初の女流絵本作家？居初つな〜かわいいに恋する〜」 1,398人 初夏展「夏来にけらし」 577人 特別展「八幡は、どうする？〜徳川時代をいかに生きるか、松花堂昭乗も考えた〜」 1,043人	市民ニーズに呼応する自主文化事業を実施し、効率的・効果的な運営を図りながら、市民の文化活動の振興・地域文化の創造に寄与することができた。施設の建物・設備の管理については、効率的かつ効果的に稼働できるよう定期的保守点検を実施するとともに、日常的な安全管理の徹底に努め、設備の状況や改修の必要性について協議し、実施した。近隣組織や施設と連携を深めながら、利用者や観光客の拡大・誘客に繋げることができた。
11	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	スタディサポート事業	低所得者世帯の小学生4年生以上・中学生を対象に民間教育機関による学習機会を提供し、学力の向上を図る。	25,591	12,795	平成29年度から実施 受講者139人	学校での定期テストの得点や評定が上がった生徒が多く見られ、3年生のほぼ全員が第一希望の進路を実現した。授業日以外にも自習に来る生徒がおり、学習の場として定着している。生徒や保護者を対象としたアンケートでは、多くの生徒や保護者から高評価を得られ、満足度の高い事業となっている。

12	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	その他	市民課窓口一部の民間委託	マイナンバーの交付等に関連する業務が増加している市民課の窓口業務の一部（証明書発行、住民異動入力、マイナンバー交付関連業務等）の民間委託を試行的に実施するものである。行政へのニーズが多様化する中、民間の活力を活用する本事業を実施することにより、限られた職員数の中で、繁忙期・閑散期における柔軟な配置見直し等を含めた最適な人員配置を図る。また、試行結果を踏まえ、委託する窓口業務の拡大や他部署での窓口業務委託の導入を検討していくことで、行革効果を市全体に波及させる。	19,996	7,789	委託期間：R6.1.1～R8.12.31 R5.9月 委託業者と契約締結 11月 研修開始 12月 窓口実施研修 R6.1月 委託開始 委託職員 1日あたり平均12人配置 証明書発行件数（R6.1～3月） 窓口 9,248件 郵送 1,353件 他、住民異動、マイナンバー交付等の業務を実施	委託開始に伴って人員配置の見直しを行い、時間外手当の削減に繋がった。また、研修を行う中で業務マニュアルの見直しを行うことができ、業務の質が向上した。
----	-----------------------	-----	--------------	--	--------	-------	---	--